No.73
令和６年５月24日発行

３月定例会

第６回中土佐町立美術館大賞展でお孫さんを描いた「夢に遊ぶ」で大賞を受賞した小川智子さん
中土佐町在住の人が大賞を受賞したのは初めてです

議会だより

中土佐町

■３月定例会（通常会議）…… 2
■令和６年度当初予算を問う …… 3
■今年度の予算ココに注目 …… 5
■一般質問（10人が町政を問う）…… 6

（表紙紹介は22ページ）

令和6年　中土佐町議会

3月定例会

議案審議

新年度予算76.6億円
前年度より14.9%の増
新美術館の建設など大型事業を計上

令和6年3月定例会が8日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明などが行われました。

18日と19日は一般質問（P6から関連記事）が行われ、10人の議員が町の課題を執行部に問いました。25日には議案の審議が行われ、町長提出の議案25件を可決。副町長及び教育長の選任など同意3件を同意し、散会しました。

3月定例会の会期は、3月8日から5月31日までの85日間です。

一般会計予算

「令和6年度中土佐町一般会計予算について」は、総額を76億6550万円とするもの。前年度と比較して、9億9441万円（14・9％）の増額となる。要因は、新美術館の建設や久礼小学校の長寿命化改修、上ノ加江のヘリコプター緊急離発着場整備という大型事業の計上による。

質疑では、1人の議員が「土佐久礼駅を利活用した交流推進支援事業」など重点施策として取り組む予算について、執行部に説明を求めた。

討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

新美術館建設予定地（左の建物は黒潮本陣）

改修工事が行われている久礼小学校（3月）

各会計の予算の状況

一般会計		76億6550万円
国民健康保険特別会計		10億4207万円
介護保険特別会計		14億0851万円
後期高齢者医療特別会計		1億4024万円
簡易水道事業会計	水道事業収益 〃　費用	1億3615万円 1億3756万円
	資本的収入 〃　支出	1億4110万円 1億8593万円
農業集落排水事業会計	農集事業収益 農集事業費用	5222万円 5264万円
	資本的収入 〃　支出	294万円 1804万円

議員の期末手当支給条例の改正

「中土佐町議会の議員に対する期末手当の支給に関する条例等の一部を改正する条例について」は、特別職及び議員の期末手当を近隣自治体の水準に合わせるため、0・45ヵ月分引き上げるもの。町長40万円、副町長30万円、教育長29万円、議員12人で計119万円の増額となる。

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

予算精査

令和６年度当初予算を問う

予算決算常任委員会は11、12の両日、各課から事業説明を受け質疑を行いました。

《防　災》

Q 木造家屋の耐震工事の未実施は把握しているか。

A 総務課長

昭和56年以前の建物については一定の耐震化率を出している。能登半島地震でも木造家屋がつぶれた事例があり、耐震化を個々に呼びかけている。

Q 事前復興まちづくり計画策定の具体策と委託先は。

A 総務課長

各分野に精通している職員７人を東北に派遣し、地震・被災後の町づくりについての考えをまとめ復興計画に反映させる。委託先はまだ決まっていない。

Q 久礼小学校津波避難路機能向上対策とは。

A 総務課長

夜間避難路が見えにくいとの声があるので、ＬＥＤライトや反射テープを巻いて安全に避難できるようにする。

《くらし》

Q あったかふれあいセンターや重層的支援体制事業など社協に委託するものが多い。連携協議はどうしているか。

A 健康福祉課長

毎月、社協と定例会議を開いているほか専門職同士でケースワークなどの会議を開いている。

Q こどもセンターは主眼をどこに置き何をどう変えようとしているか。

A 健康福祉課長

母子保健と児童福祉の両方をしっかりやっていくために人員を増員する。職員の養成にも取り組む。

Q タクシーチケット配布の高齢者外出事業のニーズ調査はしているか。

A 健康福祉課長

アンケートは行っていないが、券を取りに来た人に窓口で意見は聞いている。

《産　業》

Q シン・鰹の國プロジェクトの組織体制は。

A まちづくり課長

官民一体で進めていく。

Q カツオ学会との連携は。

A まちづくり課長

職員にもカツオ県民会議の会員がおり、学会の内容にも詳しい。学会とコラボしていく。

Q 水稲用農業機械導入事業とは。

A 農林水産課長

中土佐町が専用で使えるコンバインの導入補助で、ＪＡが管理することになる。

Q レンタル畜産施設整備事業は鶏舎を増築するものだが、町の補助額が過疎債で、これから町民が借金を支払っていくことになるが、地元へのメリットは。

A 農林水産課長

地元へのメリットは見つけにくいが、畜産業振興のために理解してほしい。

Q デジタルワーク推進事業の具体的内容は。

A まちづくり課長

デジタルワークは本町でも可能で、当面受講者５人を募集してそのスキルを身に付けてもらう。そうした人材が育てば定住やＵターンの促進となる。

《観　光》

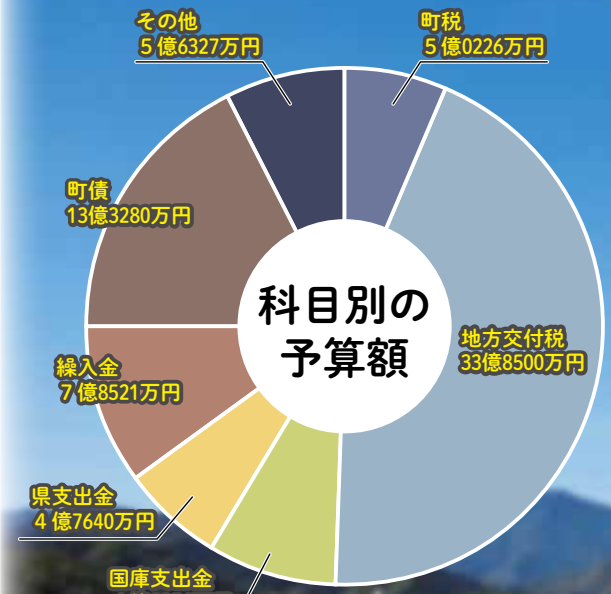
Q オーバーツーリズム事業は何か具体策はあるか。

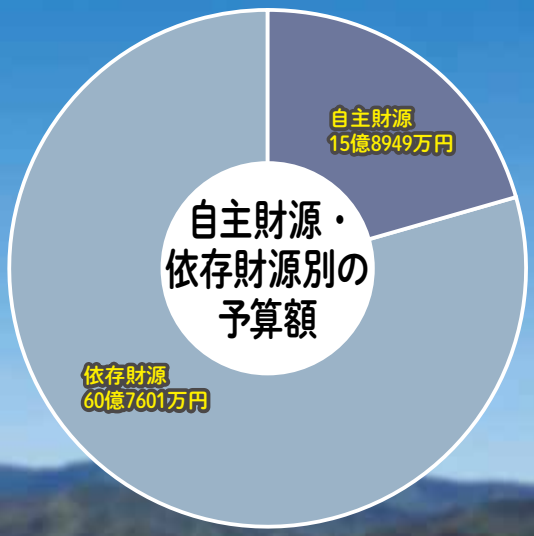
A まちづくり課長

メジカのシーズンには３時間も待ってもらうことがあった。ＳＮＳで混雑を緩和する情報発信や、駐車場の需要調査などを行う。

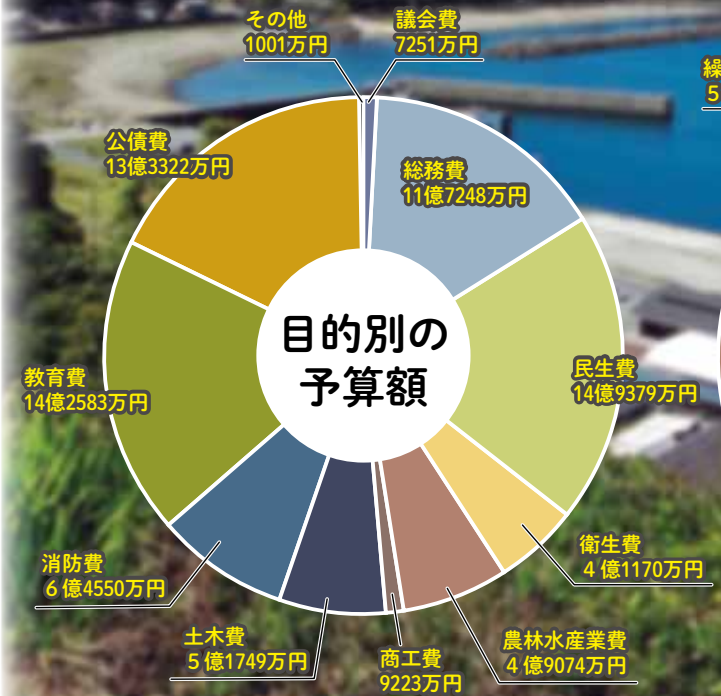
一般会計予算額の状況は

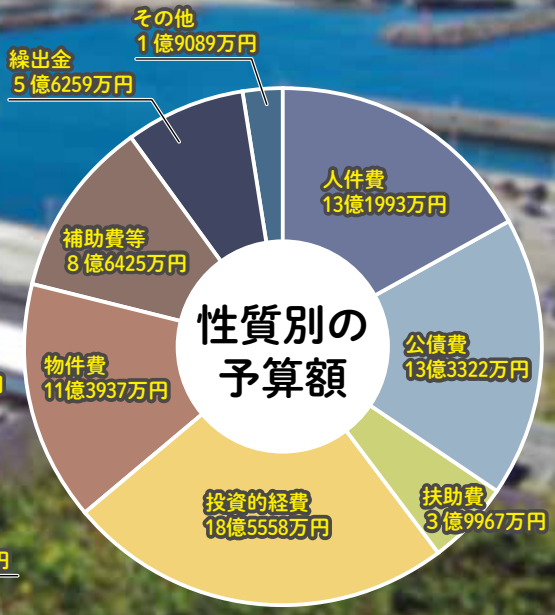
歳入予算





歳出予算





※１万円以下の端数を調整しています

公債費　町の借金（町債）返済のための経費。

扶助費　児童手当など児童・高齢者・障がい者などを支援するための経費。

投資的経費　道路や建物などの建設事業や用地の購入などのための経費。

物件費　物品の購入、旅費など消費的経費の総称。

補助費等　一般的な補助金も含め、講師謝金・保険料など、行政上の目的によって支出される経費。

繰出金　一般会計から特別会計へ支出される経費。

今年の予算 重点施策紹介

ココに注目！

３月議会で可決された令和６年度当初予算で注目の事業を紹介します。

事前復興まちづくり計画策定

1,087万円

南海トラフ地震後にいち早く復興するために地震・津波後のまちづくりを想定した計画を立てておきます。職員を東北に派遣し、その意見などを基に計画を作成します。

新美術館建設

5億2,961万円

新美術館の本体工事に着手します。同時に駐車場整備や植栽工事を行います。新美術館のオープンは令和７年秋を予定しています。

デジタルワーク推進

1,133万円

デジタルワーク人材を養成する講座の開催と養成した人材にデジタルの仕事を供給する仕組みを構築します。

習得したデジタルスキルを活用してテレワークにより自宅などで仕事ができるようになります。

上ノ加江ヘリポート建設

1億5,484万円

上ノ加江・矢井賀地区は南海トラフ地震時に長期間孤立が予想されます。空からの救助・救援を可能にするために上ノ加江地区にヘリポートを建設します。

久礼小学校長寿命化工事

4億4,051万円

２期工事として北校舎及び体育館の改修工事を始めます。同時に、机や椅子などの備品を購入します。現在工事中の南校舎は夏休み明けから使用し、全体の工事が終わるのは来年３月を予定しています。

こどもセンター運営

4,430万円

妊娠期から青年期までの健やかな成長をサポートします。

子育てに関する相談のほか、各種助成や補助も行います。今年度から体制を拡充します。

10人の議員が一般質問

一般質問
～町政を問う～

３月18日と19日の２日間、一般質問が行われ、10人の議員が子育て支援、防災対策、産業や観光など、町の諸問題を取り上げました。

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
※掲載する「一般質問」は、議員の責任で質問・答弁を750字以内にまとめたものです。

下元　道夫 ……Ｐ７
■現状は厳しい、町づくりの再構築を
■住宅耐震補助金の見直しを

山本　建生 ……Ｐ８
■買い物困難問題の実態把握と対応策は

中野　大地 ……Ｐ９
■乳幼児用品の備蓄状況は
■子育て支援センター「はぐ」の休日開所を

金子　裕之 ……Ｐ10
■中土佐町独自の耐震化補助を
■事前復興まちづくり計画で人口減少対策を

窪田　和教 ……Ｐ11
■震災で帰宅できない生徒・園児の保護は
■会計年度任用職員に人事院勧告に基づく遡及支給は

下元　良之 ……Ｐ12
■地域商品券の有効性は
■草刈り機導入事業の評価は

福永　守恭 ……Ｐ13
■中山間地域再興ビジョンは
■農地利用の地域計画は

高橋　雄造 ……Ｐ14
■災害時の情報収集は
■古い看板・立札などの見直しは

岡　伊三男 ……Ｐ15
■上ノ加江川河川改修の遊水地の進捗は
■上ノ加江ヘリポートの候補地は

佐竹　敏彦 ……Ｐ16
■相互災害応援協定で姉妹都市締結を
■双名島鬼伝説のアニメと八千代の詩のコラボでＰＲは

各議員のページにあるＱＲコードで、その議員のインターネット中継をご覧いただけます。ご覧になられる場合は、データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

現状は厳しい、町づくりの再構築を

関係者と話をしながらやっていきたい

下元道夫

オンライン ON LINE
下元議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから

問 中土佐町は「鰹乃國、土佐の一本釣りのまち、四万十源流のまち」として知名度は高い。しかし、耕作放棄地は210ヘクタールとなっている。ハンマーナイフ(草刈り機)を導入する支援は。

山﨑農林水産課長 集落営農組織が導入するのであれば3分の2の補助がある。ぜひ耕作放棄地対策につなげていただきたい。

問 「米は赤字だ」というのは、課長もご存じのとおりだ。現在、JA東とくしまの生態系調和型農業理論は、低コスト、高品質、多収量で食味値95点だ。農業振興センターと連携して検討できないか。

山﨑農林水産課長 販売価格を上げ、黒字化していく方向は間違いない。農業振興センターと連携して取り組んでいきたい。

問 持続可能な漁業についての課題を聞く。製氷施設、ドック場の整備計画は。

山﨑農林水産課長 ドック場の改修は令和6年度に計画している。製氷施設は、令和7年度に補助金を活用し、整備を図りたい。

老朽化が進んでいる船のドック場

問 土佐沖のカツオ一本釣り船は高齢化が進んでいる。乗組員対策と「これ以上カツオ船は減らさない」何らかの対策を打たなくてはならないと考えるが。

池田町長 これから、漁協、漁民の皆さんと話をしながらやっていきたい。

住宅耐震補助金の見直しを

補助金を上げることも必要

問 住宅の耐震対策、実施状況の把握、補助金の見直しが必要と考える。中土佐町は、現在上限122万5千円。県も上限を165万円に増やすという。上げる方向で検討を。

池田町長 まだまだ新耐震基準以前の家屋が多い。補助金を上げ、耐震工事をやっていただくことも必要になる。

恵みの海が脅威に変わる。耐震化を急がねば

笹場川の堆積土砂除去は

問 笹場川の砂防ダム周辺の堆積土砂の除去は。

窪田建設課長心得 まだまだ異常堆積が確認されている状況だ。引き続き上流部に向けた浚渫(しゅんせつ)工事を発注する予定であるとのことで、町も県に対して要望を行っていく。

山本建生

買い物困難問題の実態把握と対応策は

環境整備は進めるが住民・業者との協働がカギになる

オンライン ON LINE

山本議員の録画映像はこちらから▶▶▶

問 久礼地区では、須崎のスーパーが週2回来て、食料品、肌着などの販売をしている。ビコットで以前に働いていた人が、跡地で刺身などの販売をする話も聞いた。実態を把握しているか。対応策は。

辻本健康福祉課長 高齢者の生活支援や把握を行っている。買い物に行けない方には、民間のサービスを紹介している。久礼地区の人には、移動スーパー、社協や生協の弁当配達の紹介をしている。

問 道の駅や大正町市場には地元の人はほとんど行かない。大野見では、買い物ができないため住むことをやめた話も複数聞いた。買い物は、過疎・移住対策、少子化対策などまちづくりの基本に関わる問題だ。実態の把握と対応策は。

今橋まちづくり課長 これまでも一定の交通機関を利用して買い物などしてきたと考えている。買いたいものが手に入りにくい町の現状ではあるが、行政として直接業者に働きかけることは考えていない。

町外からの移動販売（久礼地区）

問 久礼の中心部の空き地にプレハブでも建てて、何らかの補助金をだして農産物を販売する方法もある。久礼や上ノ加江にはきゅうりやシシトウなどの生産者がいる。地元農産物を地元で消費する形ができると思うが。

今橋まちづくり課長 住民との協働、業を営む方との協働がなければ進まない。行政でできる環境整備はやっていきたいが、実際にやるプレーヤーの方にも働きかけてほしい。

問 「レンタル畜産施設等整備事業」に2700万円の町費を出しているが、地元にどれだけのメリットがあるか疑問に思う。5年間で8人の孤独死、5人の自殺者が出ている。久礼の現実を話したが、上ノ加江、大野見にも買い物の問題がある。具体的な対策案は。

今橋まちづくり課長 地元で買える、消費できるそういうことをやりたい人がいたらまちづくり課に相談してほしい。

その他の質問

- ▼東京でのイベント
- ▼道の駅
- ▼コミュニティバス
- ▼防災対策

乳幼児用品の備蓄状況は

粉ミルクはローリングストックで備蓄している

中野大地

オンライン
中野議員の録画映像は
こちらから

問 妊産婦用品、乳幼児用品などの備蓄状況は。

平田総務課長 妊産婦に限定した資機材はない。乳幼児向けは、おむつや粉ミルク、使い捨て哺乳瓶、子ども用のベッドなどを備蓄している。粉ミルクに関しては、ローリングストックという形で備蓄に取り組んでいる。

問 今後の備蓄計画は。

平田総務課長 特に衣類に関して意見なども聞きながら、備蓄を考えていく。

問 液状化対策の現状や課題は。

平田総務課長 久礼・上ノ加江地区の町部は、砂州という土地であることから広い範囲で液状化現象が発生する可能性がある。住宅が密集している現状で、液状化を防ぐ対策が確立されていないことが最大の課題だ。

問 防災井戸の設置は。

平田総務課長 防災井戸の設置はない。

問 今後、防災井戸や災害協力井戸などの整備の計画は。

池田町長 各地区にある井戸の数とか、その所在の場所を地域防災計画の中で改めて点検し、次の計画に盛り込んでいく。

問 災害協定の状況は。

平田総務課長 現在結んでいる災害協定の総数は42件だ。

問 南海トラフ地震に備えての対策の強化点は。

平田総務課長 防災に関しては、自助・共助・公助のバランスが大事で、自助・共助の重要性についてさらに深く理解していただけるよう今後さまざまな場面での取り組みを行っていく。

ローリングストック
普段から食べている食材を「少し多めに備える」「先に購入したものから食べる」「食べた分だけ補充する」を繰り返す方法。

乳幼児用品の備蓄

衛生用品	おむつ	LL	1,848（枚）
		L	3,024（枚）
		M	3,584（枚）
		S	4,608（枚）
		SS	3,136（枚）
	おしりふき		16（個）
寝　具	ベッド		30（個）
食器類	使い捨て哺乳瓶		1,197（個）
ミルク	箱		1.5年（分）
	缶		1.5年（分）

令和６年１月31日現在

子育て支援センター「はぐ」の休日開所を

夏休みなど毎日曜日に開催を検討している

子育て支援センター「はぐ」で交流する子どもたち

問 子育て支援センター「はぐ」の休日開所を望む声が多いが。

辻本健康福祉課長 夏休みになる７月、８月、そして冬休み期間中に合わせて毎日曜日に集中的に開催することを検討している。

問 子育て世帯への環境的支援の充実を。

池田町長 令和７年度からファミサポを含めた体制を構築できるよう年内に準備を進める。

金子 裕之

オンライン ON LINE
金子議員の録画映像は
こちらから▶▶▶

中土佐町独自の耐震化補助を

国・県の指針が変われば対応する

問 中土佐町は高齢者が多く耐震補強の実施割合が低い。生活スペースだけでも守る個別の耐震補強の補助対象基準を設けてはどうか。

平田総務課長 今は国、県の基準が補助対象になっている。今後の状況を踏まえ考えていく。

問 中土佐町は液状化の危険性が高い。平成12年以降の改正建築基準法を中土佐町独自の耐震化の基準としては。

平田総務課長 耐震補助は昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅が対象で、国、県の指針の変更があれば対応していく。

問 南海トラフ地震で大野見地区に土砂崩れや家屋倒壊が起こった場合の救助体制は。

平田総務課長 道路啓開ができないと救援には行けない。大野見地区で自主防や消防団と連携を図り、救援活動の訓練などを行っていきたい。

道路啓開（どうろけいかい）
大規模地震発生時などに、緊急車両などの通行のため、早急に最低限のがれき処理を行い、簡易な段差修正などにより救援ルートを開けること。

R4.3.31時点　耐震化率

地区名	①住宅総数	②空家数	③居住実態のある住宅（①－②）	④③のうち耐震性を有する住宅	⑤居住実態のある住宅の耐震化率（④/③）	⑥③のうち旧耐震建築物	⑦⑥のうち耐震工事を実施した件数	⑧旧耐震建築物のうち耐震工事が完了した率（⑦/⑥）
久礼	2,325	228	2,097	1,552	**74%**	786	241	**31%**
上ノ加江	849	138	711	464	**65%**	317	70	**22%**
矢井賀	213	59	154	85	**55%**	78	9	**12%**
大野見	753	158	595	375	**63%**	249	29	**12%**
合計	4,140	583	3,557	2,476	**64%**	1,430	349	**24%**

事前復興まちづくり計画で人口減少対策を

少子化対策や住宅施策を進める

問 事前復興まちづくり計画の今後示される計画で人口問題を解決するために、被災前から進めていく考えはないか。

池田町長 高台を造成して住宅や産業を移すのは難しい。今行っている少子化対策、住宅施策を進めていく。

問 人口減少対策総合交付金を活用したデジタルワーク推進事業とは。

今橋まちづくり課長 多様な働き方のできる町に向けて、デジタルスキルを身につけてもらい、町内で仕事をしていただける環境を構築するための事業だ。

電子商品券の活用は

問 6月から物価高騰対策でプレミアム付商品券が従来の紙ベースと電子商品券の2種類が発行されるが、電子商品券の今後の活用計画は。

今橋まちづくり課長 今回の活用実績や意見などを踏まえながら検討していく。

震災で帰宅できない生徒・園児の保護は

保育所、学校に避難し職員が付きそう

窪田和教

オンライン ON LINE
窪田議員の録画映像は
こちらから

問 能登半島地震では多くの集落が孤立した。大規模地震で小中学生、保育園児が帰宅できない、保護者が迎えに来られない場合の対応は。

岡村教育長 基本的には保育所、学校で保護者が迎えに来るまで避難することになる。教職員、保育所職員が勤務を続ける。保護する大人がいない子どもをどうするか、危機管理室とも早急に協議し対策を考える。

問 一番悩ましいのは人員の配置だと思うが、現時点で人員の配置をどのように考えているか。

岡村教育長 現在のところ、それぞれの教職員、保育士らに頼るしかない。

問 以前の議会で電柱は地震の揺れのみで倒壊しないとの答弁だった。しかし、能登半島地震では倒壊の映像があった。電柱倒壊とそれに備えた訓練が必要ではないか。

平田総務課長 崩壊した家屋が電柱や電線に倒れることで電柱が倒れる事例が多い。そのため、耐震や老朽家屋の除去を進めている。避難時に危険な場所を事前に確認するよう啓発している。

町内には電柱が多くあり、倒壊した場合の避難路をあらかじめ決めておくことが大事になります。

会計年度任用職員に人事院勧告に基づく遡及支給は

遡及支給している

問 昨年8月の人事院勧告で給与の引き上げが行われた。正職員は勧告に従って遡及（そきゅう）支給がされた。会計年度任用職員にも遡及支給するよう総務省は文書を出したが、県内では3分の1が改定していなかった。本町は給与の遡及支給と期末手当の引き上げを行ったと思うが確認する。

平田総務課長 言われた通り遡及で支給している。

役場は正職員と会計年度任用職員（臨時）がほぼ同じ人数。会計年度任用職員の待遇改善が課題になっています。

過疎地の妊婦支援

問 こども家庭庁は2024年度から過疎地の妊婦の出産前検診の交通費補助と出産を控えてホテルを利用する場合に宿泊費を補助する。本町はすでに交通費を補助しているが、宿泊費の自己負担分と付き添い人の宿泊費を補助はできないか。

辻本健康福祉課長 子育て支援ということで総合的に考えていきたい。

下元良之

オンライン ON LINE

下元議員の録画映像はこちらから▶▶▶

地域商品券の有効性は

事業所支援としても有効だ

問 過去に町が配布した、町内で使用する地域商品券の使用率は。

今橋まちづくり課長 令和2年度の地域応援商品券の使用率は99％、令和4年度の生活支援燃料券は97％となっている。

問 商品券は期限や購入店が限定され、印刷費や委託料も発生するが、商品券の配布は現金支給と比較して公平で有効か。

今橋まちづくり課長 町内の事業所支援という点からも、有効な給付方法と考えている。

問 令和6年度にプレミアム付商品券を発行する計画があるが販売見込みは。

今橋まちづくり課長 全町民が購入すると予想して予算計上している。内訳は紙の商品券を25％分、デジタル商品券を75％分だ。

問 電子商品券のシステムは今後何かに活用できるか。また、委託業者が関わり続けることでの問題はないか。

今橋まちづくり課長 今回の事業の結果や反応を見ながら今後の活用を検討したい。課題も出るかと思うので、状況把握などに努めていきたい。

草刈り機導入事業の評価は

問題もあるが習熟すれば活用できる

問 令和5年度に実施したロボット草刈り機導入事業で導入した草刈り機の仕様は。

今橋まちづくり課長 大きさは縦横約1メートル、重さ140キログラム、刈り幅53センチ、操作はリモコンとなっている。

河川敷の草刈り作業（大野見地区）

問 使用後の評価は。

今橋まちづくり課長 作業速度は速くないが、炎天下などでは作業が楽になる。高い草は刈り取れない、刈り取り後のむらがでる、凹凸があると困難など問題もあるが、慣れれば活用できるのではないか。

問 今後、この草刈り機の活用は。

今橋まちづくり課長 団体を対象に、無料での貸し出しを継続していく。

県道の改良工事は

問 県道窪川船戸線久万秋工区、県道窪川中土佐線吉野工区の進捗（しんちょく）状況は。

窪田建設課長心得 久万秋工区には遅れが生じているが、県は早期完了に向けて重点的に進捗を図るとのことだ。吉野工区の菱高精機付近の事業は道路詳細設計などを進めている状況だ。

やっと完了した県道窪川船戸線、神母野工区（大野見神母野）

工事中の県道窪川船戸線久万秋工区（大野見荒瀬）

中山間地域再興ビジョンは

県との連携で計画づくりを進めている

福永守恭

オンライン
福永議員の録画映像は
こちらから

問 県の掲げる中山間地域再興ビジョンは将来ビジョンとアクションプランの2つから構成をされているが本町ではどのような将来ビジョンを描き、どのようなアクションプランを立てていくのか。

今橋まちづくり課長 ビジョンの推進のために県との連動での目標設定、計画づくりを行っている段階だ。

問 アクションプランには当然、移住・定住者を増やしていく施策が必要だが、各課で独創的な施策を考えているか。

今橋まちづくり課長 デジタルワーク事業を考えている。都市部限定と認識されていたデジタルワークが人材を育成することで本町でも可能で、若者や女性の定住やUターンの促進が図れる。

山﨑農林水産課長 町内に移住・定住する従業員を雇用した林業事業体に3年を限度に定住促進手当を補助している。

辻本健康福祉課長 移住者の選択肢の一つとして介護職や福祉職も視野に入れてもらえるように、町内事業所の雇用確保に向けて県社協とも情報交換していきたい。

岡村教育長 高校・大学進学で地元に帰ってこない現実がある。ふるさと教育が大切で、地元に帰って地域を活性化したいという人材づくりに力を入れていく。

高知県が策定した中山間地域再興ビジョン（概要版）

農地利用の地域計画は

令和7年に公表予定

問 目標地図作成に向けた地域計画座談会の各会場の参加者数について聞く。

山﨑農林水産課長 昨年11月から本年2月にかけて町内10会場で開催をした。農地の所有者など369人に案内をして108人が出席した。

問 出席していない地権者や農業者に今後どのような形で周知し、作成していくのか。

山﨑農林水産課長 アンケートを地権者に送り一筆ごとの状況を聞き取り10年後にどういった方に任せたいかを記入していただく。

問 この地図の完成はいつ頃か。

山﨑農林水産課長 令和7年3月末をめどに地域計画を策定し、公表を行う予定だ。

地域計画座談会で話し合う出席者（令和5年11月28日＝大野見振興局）

高橋雄造

災害時の情報収集は

関係機関を活用し収集する

オンライン
高橋議員の録画映像はこちらから▶▶▶

問 能登半島地震では、被害状況が錯綜し、大規模災害での情報収集の難しさと、重要性が浮き彫りになったが、本町の対策は。

平田総務課長 必要な情報は、スマホアプリにより職員間で共有し、住民に対する発信は県防災情報システムを通じて提供される。

問 対口支援で、全国各自治体の職員が被災地に派遣されたが、本町の対応は。

平田総務課長 本町からは家屋被害調査として危機管理室の職員1人が、3月12日から3月21日まで輪島市で支援を行った。

問 今回の地震で、避難所の環境の悪さは依然として変わらないと一部で言われたが、本町での捉え方は。

平田総務課長 避難所における問題点として、トイレ、風呂、また臭いや感染症が考えられる。さまざまな対策を進めており、少しでも快適な生活ができるよう備蓄資機材の更新では最新の情報を取り入れるよう考えている。

> 対口支援
> 大規模災害で被災した自治体と支援側の自治体がパートナーとなり、復興における各種支援をするための手法。

古くなった状態で設置されている交通安全看板
（県道窪川中土佐線大野見トンネル付近）

古い看板・立札などの見直しは

撤去などで対応する

問 大野見トンネルから青年の家に至る県道沿いに古くなった看板やたる・ポール・手形モニュメントがある。景観上好ましくないが、何か対応は取れないか。

岡村教育長 撤去か新たに作成するかを関係部署と相談し、対処していく。交通安全の標語が記された看板などは、重点的に確認し、対応する。

問 国道56号の久礼坂第二トンネル付近の広場に14、15年前から放置されたままの金属物が存在する。行政との関わりは。

黒岩町民環境課長 道路管理者の担当部署に連絡を取り、新年度に撤去などの検討をするとの回答を得ている。

放置されたままの金属物（国道56号久礼坂第二トンネル付近）

その他の質問

▼生活保護

上ノ加江川河川改修の遊水地の進捗は

令和6年度に用地を取得して進める

問 上ノ加江川改修に併せて行われる市野々の遊水地工事の進捗状況は。

窪田建設課長心得 用地の関係などの交渉があり、工事は始まっていない。

問 用地買収の状況は。

窪田建設課長心得 用地買収範囲が特定され、登記申請に必要な関係書類の準備を進めている。令和6年度には用地を取得したいと県に伺っている。

問 計画内にある倉庫・鉄骨ハウスの撤去は。

窪田建設課長心得 非木造及び特殊な構造であり補償に係る積算に時間を要し、用地費を含めた税務協議を早期に調え、令和6年度に契約、撤去を行いたいと県に伺っている。

問 遊水地で発生する掘削土の処理場の確保は。

窪田建設課長心得 まだ準備段階で、土地の権利関係を調査して準備が整い次第、関係者と協議を進め、早い対応をしていきたい。

問 工事に伴う橋の架け替えの現状は。

窪田建設課長心得 須崎土木事務所で山内橋、十田橋の詳細設計委託業務を発注しており、下流部より改修を行った後、橋の架け替え工事に着手していく。

河川改修計画に伴い撤去予定のハウス（上ノ加江山内）

岡伊三男

オンライン ON LINE
岡議員の録画映像は こちらから

上ノ加江ヘリポートの候補地は

小学校付近に設置する

問 大規模地震による県道の落石・崩壊で上ノ加江、矢井賀地区の孤立が予想される。災害時に必要なヘリポートの候補地は。

平田総務課長 上ノ加江小学校付近の山林に計画している。

問 大型ヘリコプターの発着ができる用地確保は。

平田総務課長 用地の関係もあり、現状の場所で大型ヘリは考えにくい。

問 資機材や救援物資などの積み出しもできるよう、多めの用地の確保はできないか。

平田総務課長 用地を広げるのは難しい。

山頂を整地してヘリポートを建設
（上ノ加江小学校付近の山林）

防災資機材倉庫の引き渡しは

問 上ノ加江山内防災資機材倉庫の完成後の自主防災会への管理の引き渡しはいつ頃か。

平田総務課長 自主防災会へは管理の委託になる。時期は、決まっていない。

上ノ加江山内地区に完成した防災資機材倉庫

佐竹敏彦

オンライン ON LINE

佐竹議員の録画映像はこちらから▶▶▶

相互災害応援協定で姉妹都市締結を

震災を受けた町で教えを請うことは良い

問 災害で相互応援協定があるが、そういう意味を兼ねて姉妹都市締結はどうか。宮城県柴田町に、先祖の一人伊達騒動の一方の立役者の柴田外記朝意ゆかりの子孫がいて、つながりがあるし、町長とも連携がある。

池田町長 議員が交流の芽吹き、種をまいてくれていると思う。東北の震災を受けた地域、いろんな意味で教えを請うことが多い。よろしく願う。

柴田外記朝意の居城の船岡城跡を滝口茂町長（左端）らと見学する（写真は訪問当時）

柴田町で滝口茂町長（右端）らと面会（写真は訪問当時）

双名島鬼伝説のアニメと八千代の詩のコラボでPRは

調整など必要で現状は難しい

問 双名島鬼伝説のアニメ「海に沈んだ鬼」と八代亜紀の歌う「八千代の詩」をコラボして鰹乃國のイメージソングで町のPRは。

多田教育次長 コラボなどは関係者との協議、権利関係の調査や調整を必要とする事案も多い。現状では実現は難しい。

問 優しい鬼は日本で唯一だ。この鬼伝説を生かした鬼サミット開催で交流などはどうか。

多田教育次長 鬼にまつわる伝説は、全国にある。ほかの自治体の鬼に関するイベントなど調査し、本町で可能か検討したい。

漬物など日本の食文化を守るべきでは

問 漬物はおふくろの味、日本の食文化だ。田舎の味の漬物が手に入りにくくなってきた。田舎の文化などどうでもいいという視点があったのではないか。もう一度、ふるさとの味、おふくろの味を大事にする、そういう文化を作り上げていくべきでは。

池田町長 まさに同感だ。若い人に地域の味を伝承してもらう、そういうきっかけになる。応援したい。

アニメ「海に沈んだ鬼」はQRコードから見ることができます。
※画像提供：日本財団　海と日本プロジェクト／日本昔ばなし協会

その他の質問

▼中山間再興ビジョン

委員会活動報告

3月定例会の初日、予算決算常任委員長、少子化対策特別委員長から、委員会の活動報告がありました。

予算決算常任委員会

事業者が決定したら説明を
プレミアム付商品券事業などを調査

担当課より、「物価高騰対策プレミアム付商品券事業」及び「中土佐町食品加工業継続支援事業費補助金」の説明を受けた。

物価高騰対策プレミアム付商品券事業は、町民の家計負担の軽減及び町内店舗の支援と、併せて電子商品券を活用し、町民のデジタル化の推進を図ることを目的としている。

プレミアム付商品券は現段階では、スマホによる電子商品券でのキャッシュレス決済と紙商品券での支払いの2通りを考えているとのことであった。

電子商品券は、既存の電子マネー決済との区分が、十分にイメージができないので事業者が決定され次第、再度具体的な説明をするよう要請した。

中土佐町食品加工業継続支援事業費補助金は、対象となるのは、令和3年5月31日以前から営業している食品加工事業者で、町の補助率は3分の2以内とし、このうち県の補助率は2分の1以内となる。補助対象者の確認を含め、説明会を開催するとの説明を受けた。

プレミアム付商品券事業などの調査を行う予算決算常任委員（2月1日）

少子化対策特別委員会

二十歳の意見を参考に
アンケート結果を基に調査

第6回委員会を開催し、1月2日に開催された中土佐町二十歳を祝う会で行ったアンケート結果を基に調査した。

アンケートでは、現在の動向や結婚・子育てに対する考えや将来住みたいと思っている場所などについて回答をいただいた。この中で、住む場所に求めるものとして、仕事や住宅が上位であった。

若者が住みたい町、そして、帰ってきたいと思える町にするため、本町に足らないものとしての考えを伺うことができた。また、自由回答では、町に対する要望など貴重な意見がありました。この結果を参考にしながら、次回では、仕事について調査する。

次に、第7回委員会を開催し、仕事をテーマに町の伝統や文化を生かして、新たな産業へ結び付けていくための方策などを協議した。次回では、住宅をテーマにして調査する予定とした。

町の少子化を調査する少子化対策特別委員（2月27日）

訂正します

議会だより№72、13ページの総務教育常任委員会の活動報告で「5年生の授業では、」とあるのは「**6年生**」の誤りでした。

電子商品券は初の試み
「ジモッペイ」を活用する

池田町長の行政報告

●令和６年度の予算編成

一般会計当初予算は歳入・歳出総額76億6,550万円で前年度比14.9%、９億9,441万円の増額となる。要因は、久礼小学校長寿命化改修事業、新美術館建設事業、ヘリコプター緊急離発着場整備事業を計上したため。一般財源の不足に対し、財政調整基金約２億3,500万円取り崩して対応する。

●防災対策

上ノ加江地区のヘリコプター緊急離発着場の工事予算を当初に計上した。山内地区に、約40人が避難可能な大規模な防災備蓄倉庫が完成する。今後は、上ノ加江地区で維持管理をしてもらうよう協議していく。

●中土佐町物価高騰対策プレミアム付商品券事業

５千円で販売し、紙の商品券で３千円、電子商品券で５千円分のプレミアムを付与する。電子商品券は初の試みで、高知信用金庫独自のデジタル地域通貨「ジモッペイ」を活用する。

●こどもセンター職員の配置変更

一般職２人を増員する。１人は新たに任用するセンター長を充て、学校教育における不登校支援やいじめ問題に対する施策をより強化する。

●第６回中土佐町立美術館大賞展

全国公募により119点が出品された。大賞には久礼在住の小川智子さんの「夢に遊ぶ」が選ばれ、町内作家初受賞の快挙を成し遂げられた。

３月定例会で行政報告をする池田町長

今号では、令和５年３月定例会で濵田和昭議員が質問した「処理場の搬入時の安全確保を」の問題を追跡しました（No.69 P12参照）。

問 不燃物処理場に安心して搬入、荷下ろしできるようコンクリート製にならないか。

黒岩町民環境課長 処理場は舗装されていないため、金属、ガラス片などがあり、雨の後はぬかるみ、掃除、分別作業には好ましくない状態になっている。舗装にはどのような工法でどのくらいの範囲とするか検討する。

池田町長 町民環境課長の答弁は「やる」ということだ。十分状況を把握している。町民の皆さんや作業者の方にしっかりと対応する。

いろいろなものが散乱する七浦処理場（改良前）

コンクリートで舗装された七浦処理場（改良後）

その後の対応

令和５年６月定例会に七浦と栂ノ川の不燃物処理場の舗装工事予算が計上された。その後、コンクリート舗装工事を行い、雨でのぬかるみの解消や散乱物の除去が容易になり、安全でスムーズな作業ができるようになった。

Q 議員は何をしゆうが？
A 私たちは、こんなことをしています。

≪各議員の出欠状況（令和６年２月８日～３月）≫

日付・会議等		窪田和教	岡伊三男	下元良之	福永守恭	金子裕之	濵田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	高橋雄造	中城重則
２月８日	議会運営委員会	○	／	／	○	／	／	○	／	／	○	○	
	12月定例会第１回臨時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	○	○
	産業建設民生常任委員会	／	○	○	○	○	／	○	／	／	○	／	／
	議会広報広聴常任委員会	○	／	○	／	○	○	／	○	○	／	／	／
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	／	○	／	／	○	／	／	／	○	○	／
２月27日	議会広報広聴常任委員会	●	／	○	／	○	○	／	○	○	／	／	／
	少子化対策特別委員会	／	○	○	／	○	○	／	／	○	○	／	／
３月６日	議会運営委員会	○	／	○	／	／	○	／	／	／	○	○	／
３月８日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	３月定例会通常会議（１日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３月11日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	／	○	／	／	○	／	／	／	○	○	／
３月12日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会	○	／	／	／	／	○	／	○	○	／	○	○
	産業建設民生常任委員会	／	○	○	○	○	／	○	／	／	○	／	／
３月18日	３月定例会通常会議（２日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○	／	○	／	○	○	／	○	○	／	／	／
３月19日	３月定例会通常会議（３日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３月25日	３月定例会通常会議（４日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
３月27日	議長杯パークゴルフ大会	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。
○・・・出席　　●・・・欠席　　／・・・所属委員等でない

≪議長の主な活動状況（令和６年２月８日～３月）≫

●２月

14日　高知県町村議会議長会理事会（高知市／自治会館）
15日　高幡広域市町村圏事務組合との打ち合わせ（須崎市／高幡広域市町村圏事務組合）
17日　拉致問題を考える国民の集いin高知（高知市／高知県立ふくし交流プラザ）
20日　高知県町村議会議長会第75回定期総会（高知市／自治会館）
27日　こうち人づくり広域連合議会第44回定例会（高知市／自治会館）
後期高齢者医療広域連合議会第41回定例会（高知市／自治会館）
28日　津野山養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
第64回高幡障害者支援施設組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
高幡広域市町村圏事務組合議会２月定例会（須崎市／総合保健福祉センター）
高幡消防組合議会第161回定例会（須崎市／総合保健福祉センター）

高知県町村議会議長会から感謝状と記念品を受け取る中城議長（２月20日）

●３月

２日　第６回中土佐町立美術館大賞展表彰式
28日　高幡東部清掃組合議会定例会

私は、賛成　反対しました。

全会一致の議案

【３月定例会　議案】		結果
報告第１号	専決処分の報告について（山内資機材倉庫新築工事）	報告
議案第５号	中土佐町議会の議員に対する期末手当の支給に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第６号	中土佐町一般職の任期付職員の採用等に関する条例について	可決
議案第７号	中土佐町非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第８号	中土佐町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第９号	中土佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第10号	督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決
議案第11号	中土佐町監査委員条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第12号	中土佐町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	中土佐町漁港管理条例の一部を改正する条例について	可決
議案第14号	中土佐町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
議案第15号	中土佐町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第16号	中土佐町水道給水条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第17号	中土佐町簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第18号	中土佐町教育研究所設置条例の一部を改正する条例について	可決
議案第19号	令和５年度中土佐町一般会計補正予算（第７号）について	可決
議案第20号	令和５年度中土佐町国民健康保険特別会計補正予算（第３号）について	可決
議案第21号	令和５年度中土佐町農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）について	可決
議案第22号	令和５年度中土佐町介護保険特別会計補正予算（第４号）について	可決
議案第23号	令和５年度中土佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）について	可決
議案第24号	令和６年度中土佐町一般会計予算について	可決
議案第25号	令和６年度中土佐町国民健康保険特別会計予算について	可決
議案第26号	令和６年度中土佐町介護保険特別会計予算について	可決
議案第27号	令和６年度中土佐町後期高齢者医療特別会計予算について	可決
議案第28号	令和６年度中土佐町簡易水道事業会計予算について	可決
議案第29号	令和６年度中土佐町農業集落排水事業会計予算について	可決
同意第４号	中土佐町教育委員会教育長の選任について	同意
同意第５号	副町長の選任について	同意
同意第６号	固定資産評価員の選任について	同意

パークゴルフで交流

３月27日（水）、「第11回中土佐町議会議長杯パークゴルフ大会」を小草ふれあい公園で開催し、29人の参加者が親睦を深めました。

開会式であいさつをする中城議長

中城議長から優勝トロフィーを受け取った下元啓造さん

入賞者の皆さん おめでとうございます!!

【しまんとコース・くろしおコース２Ｒ　36ホール】

優勝　下元　敬造さん　スコア【100】

準優勝　畝原　敏男さん　スコア【102】

第3位　奥堂　初男さん　スコア【102】

ボールはどこ!?

議会広報に対するご意見を募集しています

ご感想などお寄せください。

〒789-1301 中土佐町久礼6663-1
TEL 0889-52-2410　FAX 0889-52-4850
E-mail gikaijimu@town.nakatosa.lg.jp

（今号の表紙）

令和6年度は「町でがんばる人たち」をテーマに、話題の人や文化、仕事、スポーツなどでがんばる人たちの姿を紹介します。

1回目は、中土佐町立美術館大賞展で大賞を受賞した小川智子さんです。小川さんにお話を伺いました。

1 中土佐町立美術館大賞展は今年で6回目ですが、初めて中土佐町在住の方が大賞を受賞されました。

A 受賞の知らせをいただいたときは本当にびっくりしました。

皆さんの素晴らしい作品群の中で大賞をいただいたことは、運がよかったと思います。

2 絵を始めたきっかけを教えてください。

A 50歳を過ぎたとき、60歳になった自分がどうなっていたいかを考え、昔やってみたかった油絵に挑戦してみようと、高新文化教室の洋画教室に入ることを決めました。

3 お孫さんを題材にした作品が多いですね。

A 孫には子どもとは違ったかわいさを感じ、何をしていても愛おしさを感じます。

孫を描いているときは自然と笑顔になってしまいます。

4 町の絵画愛好家にひとこと（後に続く人にひとこと）

A 中土佐町は、市川雅彦館長をはじめ、多くの人の努力で「絵を描く」という土台がしっかりしていると感じます。絵を描いている途中、アドバイスを聞ける場所があることは私にとって大変ありがたいことです。上達するには描き続けることが大切ですが、同時に一緒に切磋琢磨していく仲間たちが身近にいることも必要だと思います。

【写真説明】
上は中土佐町立美術館大賞の授賞式で。

左は作品を講評する市川館長。

つぶやき

良い考えが浮かびやすい場所を表す「三上」という言葉がある。馬上、枕上、厠上の三つを指すらしい。ゆったりと動く馬の上、枕上は布団の中、厠上はトイレの中らしい。また、集中して知恵を出す無我夢中、気分転換の散歩中、ゆっくり入る風呂の中、の「三中」があり二つを合わして「三上三中」というらしい。

本町でも少子化による人口減少、高齢化による各産業での担い手不足、商店の疲弊など課題が山積している。みんなで「三上三中」で知恵を出し合い、活力のある安心して暮らせるまちづくりに取り組みたいものだ。

福永　守恭

中土佐町議会広報広聴常任委員会

委員長　窪田　和教
副委員長　山本　建生
委員　下元　良之
委員　金子　裕之
委員　濵田　和昭
委員　中野　大地

発行／高知県中土佐町議会　発行人／議長　中城　重則　編集／議会広報広聴常任委員会
〒789-1301　高知県高岡郡中土佐町久礼6663-1
電話（0889）52-2410（直通）　FAX（0889）52-4850（直通）